

2022年2月14日

各 位

上場会社名 アールビバン株式会社
代表者 代表取締役会長兼社長 執行役員 野澤 克巳
(コード番号 7523)
問合せ先 取締役執行役員 経営企画室長 樋口 弘司
(TEL 03-5783-7171)

2022年3月期第3四半期報告書の提出期限延長に係る 承認申請書提出に関するお知らせ

当社は、本日、企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15の2第1項に規定する四半期報告書の提出期限延長に関する承認申請書を関東財務局へ提出することを決定しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

株主・投資家の皆様をはじめお取引先および関係者の皆様には、ご迷惑とご心配をおかけしますことをお詫び申し上げます。

記

1. 対象となる四半期報告書

第38期(2022年3月期)第3四半期報告書(自2021年10月1日至2021年12月31日)

2. 延長前の提出期限

2022年2月14日

3. 延長が承認された場合の提出期限

2022年3月22日

4. 提出期限の延長を必要とする理由

<発覚の経緯>

今般、1社の取引先より支払の漏れがあるのではないかとの確認を受け、社内調査をいたしました結果、2016年以降売上原価の一部に計上漏れがあることが判明し、2016年以降の決算の訂正を行う必要がでてきました。

<調査の概要>(現在までの調査内容になります。)

売上原価の計上漏れの原因を調査しましたところ、商品担当部門の担当者間におきまして、事務処理作業の業務の連携(引き渡し)が正確にできず、業務を引き受けた担当は、商品原価の複数の原価構成のうち一部の商品原価の計上のいらない商品仕入れとして誤認し、処理をできていたため、当該原価の計上を漏らしておりました。

計上漏れ額(2017年3月期第1四半期から2022年3月期第2四半期までの累計)は、現在精査中であります(現状4~8億円程度と推定しております)。

<延長を必要とする理由>

現在、当社では売上原価データの計上漏れの確認・検証(網羅性の検証を含む)を全力で行っておりますが、さらに、調査に万全を期すため、2022年2月10日、社内調査委員会の設置を決定しております。十分に検証した数値を得ること、本件の内容が判明するまでには、一定の時間を要します。

また、今回の2022年3月期第3四半期決算発表において、過去に提出した四半期報告書、有価証券報告書及び内部統制報告書の訂正報告書の提出、決算短信、四半期決算短信の訂正の開示(以下、「決算訂正」といいます)もあわせて予定しており、決算訂正の数値について、2022年3月期第3四半期報告書の内容にも関連することから、当社での社内調査及び監査法人による確認作業を進めている状況においては、法令に定める提出期限までに当第3四半期報告書の提出は困難であるとの判断に至り、この度、当該第3半期四半期報告書の提出期限の延長申請を行うことといたしました。

5. 今後の見通しについて

今回の提出期限延長に係る申請が承認された場合には、速やかに開示いたします。

6. 業績に対する影響について

現状、当期の業績に与える影響は、軽微であると判断しておりますが、影響が見込まれる場合は速やかに情報開示いたします。

以上